

なにかと話題になっている「ジャングリア沖縄」に行ってきました

旅の「目的地」というのは、大きく分けると二つに分類されるんじゃないでしょうか？

旅の計画を立てる際の本命の目的地の場合（絶対そこに行きたいという強い思い）一方、旅先の近くにたまたまその目的地がある場合（成り行き・ついでに） 年に2回のお楽しみになっている恒例の同級生との旅行（ゴルフ遠征）で今回ジャングリア沖縄訪れた理由は

まさに「後者」 たまたま予約したホテルの近くに「それ」があったから・・・でした。

ジャングリア沖縄は沖縄本島北部に今年7月オープンした「大自然を舞台」にしたテーマパークです。広さは約60ヘクタール（東京ドーム約13個分） その中に大自然を活かした22種類ものアトラクションから、リラックスできるスパ、地元食材を使ったレストランもあり、老若男女が楽しめる施設と謳っています。

開園前後は全国のテレビなどで取り上げられるなど「鳴り物入りでデビュー」しました。

しかしその後のネット上の評判は「没入感が高い体験ができる」や「食事が美味しい」など好評価がある一方、「待ち時間が長い」や「野外のため天候に左右される」「PR用のパンフレットと現実のギャップがある」など批判的な意見が少くないのも現実です。

私たちが訪れたのはオープンから約4か月、11月中旬の小雨の降る平日でした。傘さし並び開園の10時に入場。施設のシンボル「ジャングリアツリー」の下を通り抜けるとまず目に飛び込んでくるのは広大な「やんばるの森」 遠くにはこの施設のランドマークともいべき高さ19mの首長竜「ブラキオサウルス」が目を引きます。作り物とわかっていても「楽しんでやろう」という気持ちがあるだけでワクワクしてきます。あとは人気のアトラクションの整理券をゲットするため配布場所へまっしごら。スタッフに道を尋ねるとおもてなしの心あふれる対応に思わず仲間の顔もほころびます。

ただ・・・紙面の都合上すべてのアトラクションに言及できませんが、目玉のアトラクションともいるべき、肉食竜から逃げる体験ができると謳った「ダイナソーサファリー」・・・結論から言いますと「恐竜は追いかけてこなかった・・・」 たしかにテレビでもおなじみシーンというべき目の前で隊長がT-REXに喰われたり、恐竜の咆哮を聞きながら疾走する車両に乗って道を抜け池に飛び込んだりすることは普段経験できない衝撃です。同乗していた大阪から来たという幼稚園の女の子は泣いていました。ただ「初代ジュラシックパーク（1993）」のT-REXのシーンの圧倒的な迫力ある映像を経験している私はどうしても「そこまでのもの」を期待してしまいます。仮想と現実・・・現代の技術をもってしてもまだまだその溝を埋めるのは難しいんでしょう。

でも私はジャングリア沖縄に行ってよかったですと思っています。「伸びしろ」を感じたから・・・厳しい意見も錯綜する中、他のテーマパークにはない大自然を生かすという世界初の試みはまだ始まったばかり。これから改良を重ねていきその優位さを生かしてば、今後世界中から人が集まるテーマパークに成長する可能性を感じたからです。そしてなんといっても「ジャングリア沖縄に行ったことがある」と人に言えるから・・・どなたかいらっしゃいますか

2025年11月の段階でジャングリア沖縄行った方・・・。